

令和5年度当初予算編成 方針及び当面の行政報告

第1回奈半利町議会定例会

令和5年3月7日

本日は、議員の皆様のご出席をいただき、令和5年第1回議会定例会が開かれますことを厚く御礼申し上げます。

それでは、議案の審議に先だちまして、この際、町政運営にあたり、令和5年度の当初予算の編成方針を申し述べ、議員の皆様並びに町民の皆様に一層のご理解とご協力をお願いするものであります。

国の令和5年度予算においては、「経済財政運営と改革の基本方針2022」に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進するとしています。

高知県においては、こうした国の動向を注視し、積極的な情報収集に努め、確実に予算へと反映していく必要があるとしたうえで、次なる時代のキーワードとなる「デジタル化」、「グリーン化」、「グローバル化」の観点から、5つの基本政策と3つの横断的な政策のさらなる進化を図っていく必要があるとしています。

また、原油価格や物価の高騰への対応については、影響が長期化することを見据え、社会経済構造の転換を図る施策をさらに強化するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応については、県民の健康、生活を守るため、感染拡大防止対策を着実に実施していく必要があるとし、併せて、南海トラフ地震をはじめとする防災・減災対策については、国の5か年加速化対策等の有利な財源を最大限活用し、防災・減災に資するインフラ整備を加速していかなければならないこと等を挙げています。

本町の財政状況は、令和3年度一般会計決算における自主財源の割合は18.4%で、歳入構成比では、地方交付税の45.5%に対し、町税は7.8%と地方交付税への依存度が極めて高く、脆弱な財政構造となっています。財政の健全化判断比率については、現在、健全状態にあります。大規模事業の実施に伴う地方債の残高が増加してきており、今後は、公債費の増加や基金残高の減少が見込まれています。このような財政基盤の中、限られた財源を有効に活用して、各種の課題に的確に対応し、財政健全化に取り組む必要があります。

令和5年度の歳入は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの課題に直面し、町税収入の確保は厳しい状況が見込まれます。また、歳出においても、原油価格・物価高騰による燃料費、光熱水費などの増加が避けられない状況の中、感染予防と経済活動の両立及び生活支援、南海トラフ地震対策等の防災対策、高齢化の進展などによる社会保障費の増大、行政のデジタル化など、多大な財政負担が見込まれています。

このような厳しい状況下において、これらの取組を具体的な施策として遂行し、安全安心な町づくりを推進していくためには、これまで以上に国、県の動向を注視し、あらゆる財源を確保するべく積極的な情報収集に努め、令和5年度の予算に確実に反映していく必要があります。

これらの状況を踏まえた上で、令和5年度の当初予算編成に当たっては、総合計画の基本理念に基づき中長期的な見通しを立て、事業の実効性や費用対効果、優先順位を検証し、職員一人一人がこれまで以上に、住民本位の行政を推進することを認識し、住民の福祉向上に全力を挙げるための予算編成といたしました。

本町の令和5年度一般会計当初予算案は、対前年度比45,000千円、1.5%増の3,045,000千円となっております。

まず、歳入において、町税は、個人町民税、たばこ税等の伸びを見込み、対前年度比6,371千円、2.4%増の273,163千円を見込んでおります。

地方交付税のうち、普通交付税については、前年度交付決定額に対し、基準財政需要額では、個別算定経費18,848千円の減、包括算定経費3,879千円の増、臨時財政対策債振替額が7,095千円の増を見込み、需要額全体では、7,874千円の減を見込んでおります。また、基準財政収入額では、町税や地方消費税交付金の増収等により11,773千円の増を見込み、前年度当初比60,000千円、4.3%増の1,450,000千円を見込んでおります。

国・県支出金は、社会資本整備総合交付金60,255千円、防災・安全交付金32,175千円、道路メンテナンス事業費補助金19,305千円、学校施設大規模改修費交付金17,999千円、高知県こうち農業確立総合支援事業費補助金19,087千円等の対前年度比86,724千円、27.6%増の400,986千円を見込んでおります。

町債は、道路・港湾・水道施設等のインフラ整備事業及び過疎地域自立促進特別事業等に過疎対策事業債304,800千円、河川等の防災対策事業に緊急自然災害防止対策事業債7,000千円、臨時財政対策債9,336千円の対前年度比177,484千円、35.6%減の321,136千円を見込んでおります。

以上、歳入全体における地方税、地方交付税等の一般財源の割合は、66.3%、2,018,159千円で、国・県支出金、地方債等の特定財源の割合は33.7%、1,026,841千円であります。

次に歳出においては、議会費は、対前年度比1,260千円、2.6%減の47,201千円を計上しております。

総務費は、対前年度比28,500千円、4.8%減の571,974千円を計上しております。一般管理費には、脱炭素化に向けた新規事業として住宅用太陽光発電導入促進事業費補助金1,200千円を計上、企画費には、情報通信基盤整備事業費や、地域おこし協力隊、集落支援員、空き家対策、集落活動センター関連事業などを含む114,862千円等を計上しており、町の活性化を図るとともに情報を積極的に発信し、交流人口の拡大、移住・定住の促進等を図り、地方創生に取り組んでいきたいと考えております。

民生費は、対前年度比10,124千円、2.1%増の487,377千円を計上しております。保健福祉費には、他会計繰出金として、国民健康保険特別会計へ61,809千円、後期高齢者医療特別会計へ22,520千円、負担金として中芸広域連合介護保険事業費負担金79,067千円、後期高齢者医療療養給付費負担金82,798千円等を計上しております。

また、障害者、高齢者、児童等の福祉費には、奈半利町子育て支援金3,100千円、出産祝い金2,000千円、国の新規制度である出産・子育て応援交付金2,500千円、あったかふれあいセンター事業費33,880千円等を計上しております。

子どもからお年寄りまで住民一人一人が、豊かで安心して暮らせる町づくりのため、今後も広域連合や関係機関と連携を密にしながら、福祉全般の充実に努めたいと考えております。

衛生費は、対前年度比36,569千円、9.8%減の338,435千円を計上しております。保健衛生費には、中芸広域連合への負担金として、高齢者のインフルエンザワクチン接種を無料とする町独自事業、保健衛生費及び火葬場負担金に45,193千円、簡易水道事業特別会計への繰出金42,505千円、医療費自己負担分の無料化対象年齢を18歳までに引き上げた乳幼児・児童医療費扶助費に7,428千円、インフルエンザワクチン接種助成金650千円を計上しております。また、清掃費では負担金として、安芸広域ごみ処理施設関連負担金109,298千円、中芸広域連合衛生費負担金40,929千円を計上しております。

広域の取組と連携し、住民の健康保持のため、健康づくりの推進や各種健診、予防接種、特定保健指導などの充実に努めるとともに、生活衛生環境の向上、保持に努めたいと考えております。

農林水産業費は、対前年度比35,659千円、23.5%増の187,256千円を計上しております。

農業費には、農業水路等長寿命化・防災減災事業工事12,000千円、こうち農業確立総合支援事業工事21,000千円、こうち農業確立支援事業費補助金19,175千円、奈半利町園芸用ハウス整備事業補助金25,695千円、農業中山間地域等直接支払交付金及び多面的機能支払交付金10,355千円、農業の担い手確保施策では町独自の新規事業として奈半利町農業後継者推進事業補助金3,000千円等を計上し、林業費は、有害鳥獣被害対策事業費等12,502千円を計上しております。

また、水産業費には、奈半利町漁協施設移転工事16,000千円、稚魚放流事業費800千円、漁業集落排水事業特別会計への繰出金13,896千円等を計上しております。

これらの施策の実施により、本町の基幹産業である一次産業の足腰の強化を図るとともに、安定的な発展を支援することで、活力あるまちづくりに繋げてまいりたいと考えております。

商工費は、対前年度比314千円、1.1%増の29,124千円を計上しております。

商工振興費に、高知県東部観光協議会負担金2,121千円、中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会負担金10,935千円、港まつり等の観光イベント補助金8,800千円等を計上しており、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、情報発信及び受入れ体制の整備を進めてまいりたいと考えております。

土木費は、対前年度比84,787千円、34.0%増の334,355千円を計上しております。

道路橋梁費には、社会資本整備総合交付金事業、道路メンテナンス事業による町道の改良工事費等201,463千円、港湾費では奈半利港改修事業に伴う負担金13,000千円を計上しております。また、住宅費には、町営住宅改修工事69,327千円、住宅リフォーム支援事業補助金3,000千円等を計上しております。

地域社会の安全・安心な生活を支え、経済活動における最も基本的で重要な社会インフラである道路等の更なる整備強化を図ってまいりたいと考えております。

消防費は、対前年度比133,302千円、41.9%減の184,730千円を計上しております。

中芸広域連合消防費負担金111,571千円、消防自動車の購入15,800千円、災害対策費では南海トラフ地震対策として、奈半利港海岸高潮対策事業負担金20,000千円、耐震改修費等への補助金22,085千円等を計上しております。

今後も引き続き、住民が安全に安心して暮らせるよう、自然災害にも備えた防災体制を強化し、災害に強いまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

教育費は、対前年度比62,422千円、17.6%増の417,425千円を計上しております。

子どもたちの学力向上を図るため、放課後学習支援員報酬16,890千円、小・中学校英語教育の充実強化と国際的な人材育成を図るため、国際交流員及び外国語指導助手報酬9,960千円、大学等に進学及び在学する者の人材育成、修学支援として、人づくり奨学金給付金17,700千円、小学校及び中学校体育館の照明改修工事53,999千円を計上しており、今後も引き続き、学校教育、社会教育の推進に努めてまいります。

災害復旧費は、対前年度比244千円、1.7%増の14,844千円を計上しております。

公債費は、対前年度比19,843千円、5.7%増の370,365千円を計上しております。

諸支出金は、ふるさと応援基金積立金15,000千円、漁業振興基金積立金12,900千円、教育振興基金積立金13,000千円等により、対前年度比31,238千円、121.7%増の56,914千円を計上しております。

歳出全体における義務的経費の割合は33.3%、1,013,406千円、投資的経費の割合は18.6%、566,441千円、その他の経費の割合は48.1%、1,465,153千円となっております。

なお、令和5年度末の起債残高は4,451,316千円、基金残高は4,590,890千円、実質公債費比率（3年間平均）は、2.2%となる見込みです。

以上が令和5年度一般会計当初予算の内容であり、より有利な制度や補助金等を活用し、最小の経費で最大の効果を挙げるべく、内容を充分精査し、財政健全化に留意した予算編成としております。

今後も、厳しい財政状況の中、行政と住民が協働して、当町が直面する課題に的確に対応し、豊かで明るい奈半利町の実現、町民の皆様が安心して暮らせる、住みたい、住んで良かったと感じられる魅力ある奈半利町を目指して取組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

続きまして当面の行政報告をいたします。

1 成人式について

去る1月3日に、奈半利小学校体育館において令和5年成人式を開催いたしました。

成人年齢は、18歳に引き下げられましたが、当町では20歳の方を対象としております。

今年は24名が成人を迎えられ、式典には16名が出席されました。

当日は天候にも恵まれ、式典におきましては出席された皆様に新型コロナウイルス感染症感染防止対策にご協力をいただき、「成人の門出」を無事に祝福することができました。

出席されました成人の皆様にとっては、コロナ禍の中での開催ではありましたが、久しぶりに顔を合わせた仲間との再会に喜びを味わいながら、成人としての自覚や決意を新たに刻まれ、記憶に残る成人式となったのではないかと考えております。

2 町内駅伝競走大会及び生涯学習推進大会について

新型コロナウイルス感染拡大防止により、開催を自粛しておりました、町内駅伝競走大会及び生涯学習推進大会を3年ぶりに開催いたしました。

2月5日に開催した第42回町内駅伝競走大会は、一般の部に6チーム、小学生の部に5チームが出場され、町民会館前を起点とした周回コースで競技が行われました。沿道には多くの町民の方々や保護者の方々も応援に駆け付け、出場選手はたくさんの声援と励ましを受けながら、競争部門やピッチリ部門での入賞を目指して、力強い走りでタスキを繋げていました。開催に際しましては、交通安全指導員、奈半利町消防団の各分団員、奈半利町の各婦人会、スポーツ推進委員をはじめ多数の方々に、交通指導や大会運営へのご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

また、2月18日に開催した第25回生涯学習推進大会は、奈半利小学校体育館において、「瞬間（いま）を輝こう」をテーマに各団体の活動発表が行われました。発表は認定こども園幼稚部の太鼓、小学校4年生の合唱とリコーダー、中学校吹奏楽部の演奏や「民踊」をはじめ、初参加となる「キッズダンス」、「フラダンス」の披露、活動の復活に向けた「なはりふるさと合唱団」の美しい歌声、そして、なはり大根役者一座による「にわか劇」では、奈半利町の偉人である「野村茂久馬氏」が坂本龍馬像の建立に携わるワンシーンを題材に、笑いを取り入れた

演出など、多様な活動の発表があり、来場された方々から、たくさんの温かい拍手や感動の歓声が沸き起こっていました。

町内駅伝競走大会及び生涯学習推進大会は、コロナ禍のなかでの開催ではありませんでしたが、今後も社会体育や社会教育活動のさまざまな取り組みの充実や推進に向けて努めてまいりたいと考えております。

3 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外の子育て世帯分）について

この給付金は、新型コロナウイルス感染症の影響により損害を受けた低所得の子育て世帯（ひとり親を除く）を見舞う観点から、令和4年度分の市町村民税均等割が非課税である者で、令和4年4月分の児童手当（特別児童扶養手当受給の場合20歳未満）受給者及び高校生等を養育する者に、児童1人に対して5万円を給付するものです。2月27日時点での給付対象者は、32世帯60名で、対象全世界帯に給付済みであります。令和5年2月28日までの間に出生した新生児も対象としており、3月15日までの受付期限を設けております。

4 新型コロナウイルス対応交付金事業について

（1）奈半利町子育て世帯生活支援単独給付金について

この単独給付金は、子育て世帯の負担に対し、新型コロナウイルス感染症の影響による損害を見舞う観点から、所得制限を設けず、町内に住所を有する18歳までの児童（特別児童扶養手当受給の場合は20歳未満）を養育する者に、児童1人に対して2万円を給付する町単独の給付金です。2月22日時点の給付対象者は、193世帯344名で、うち187世帯333名に給付済みであります。令和5年2月28日までの間に出生した新生児も対象としており、年度内の給付を進めてまいります。

（2）奈半利町地域振興券事業について

新型コロナウイルス感染症対策として町民の皆様の生活支援、町内事業者の経営支援として実施しております奈半利町地域振興券につきましては、2月21日現在の利用率で88%、換金額は36,354千円となっており、予算額44,110千円に対しまして82.4%の執行率となっております。

(3) 奈半利町原油価格・物価高騰等対策緊急支援金交付事業について

町内事業者の物価高騰対策として実施しております奈半利町原油価格・物価高騰等対策緊急支援事業につきましては、2月21日現在の申請状況は、83.11%で支給額が16,700千円となっております。支給率の向上を図るために個別連絡等を実施し、申請事業者への速やかな支援金の給付に努めてまいります。

5 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金について

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり5万円を給付するもので、2月27日までの申請状況は、94.6%で支給額が35,350千円となっております。国の給付期限が3月31日までとなっており、年度内の給付に取り組んでまいります。

6 マイナンバーカードの申請状況について

当町のマイナンバーカードの交付状況等については、2月19日時点で、地方公共団体情報システム機構より当町へのカード発送件数は1,997件で、率としましては65.4%、町民の皆様への交付件数は1,877件、交付率は61.4%となっております。引き続きマイナンバーカードの普及に向けて、取り組んでまいります。

7. 中芸広域連合の取組み状況について

(1) 消防・救急業務について

消防業務につきましては、1月末現在の管内における火災は7件（奈半利町4件、田野町1件、安田町1件、北川村1件）で、前年同期と比べて3件増となっております。

昨年度より火災は増加しており、特に雑草等が燃えるその他火災が増加しています。建物火災では1名の死者もでておりますので、火災0をめざして火災予防意識の一層の普及を図り、火災の発生と火災による死者の発生を無くすとともに財産の損失を防ぐため、防災行政無線や各種行事での防火の呼びかけをして、火災予防の啓発に努めることとしております。

救助出動につきましては、8件（奈半利町1件、田野町1件、安田町5件、北川村1件）で、前年同期と同数となっております。種別の内訳は、交通事故3件、水難事故2件、一般負傷1件、労働災害1件、その他（滑落事故）1件となっております。昨年度と比べて水難事故が増えております。

救急業務につきましては、1月末現在、出場件数706件、搬送人員657人で、前年同期に比べて、件数で48件、人員で31人の増となっております。

(町村別では、奈半利町215件・195人、田野町234件・222人、安田町165件・155人、北川村72件・66人、馬路村18件・17人、応援出場で安芸2件・1人、室戸への応援出場はありません。)

高齢化に伴い、搬送者の占める65歳以上の割合は79%を超えています。

また、コロナ疑いの搬送は42件で、うち陽性は39件です。救急搬送困難事例も増加しており1月末現在13件で、搬送先が決まるまでに病院連絡回数最多22回、現場到着から搬送先到着までが3時間2分かかった事例もあります。今後におきましても、住民生活の安心、安全確保のため救急隊員の一層の資質向上に努めるとともに応急手当等の普及啓発を行い、救命率の向上を図ってまいります。

(2) 保健福祉業務について

新型コロナワクチン接種業務については、2月4日の安田町文化センターで、すべての集団接種が終了しました。

今回、接種したオミクロン株対応の2価ワクチンは5,346人(1月31日現在)が接種を終えており、全体の53.8%の方が接種を受けられました。

4月以降については、マスコミ等で報道されているとおり、5月8日を目途に感染症法上の分類を季節性インフルエンザと同じ5類に変更する予定ですが、ワクチン接種については予防接種法上の臨時接種を継続し、費用負担がかからない方向で検討されています。また、接種回数も年1回を秋以降に接種する方向で検討されており、重症化リスクの高い方や医療従事者等への接種時期や使用するワクチンの種類等の詳細についても検討されています。

2月15日に地域づくりサポーター養成講座が開催され46名の参加がありました。これは障害のある方もない方も安心して暮らすことができるように、人と人がつながることを目的で行われました。今回は「農福連携」をテーマに中芸地域の障害者福祉の現状や「農福連携」の基礎知識の説明があり、最後に高知県立精神保健福祉センターの山崎所長より障害者の特性やその理解についての講演がありました。

(3) 介護保険業務について

介護保険業務につきましては、1月末の要介護(要支援)認定者数が895人、11月の居宅サービス利用者数は495人、地域密着型サービス利用者数は137人、施設サービス利用者数は180人となっております。

給付費の状況は、月平均122,655千円(前年度月平均118,028千円)で推移しており、対前年度比は3.92%の増加となっております。

また、地域包括支援センターが行っている予防給付のケアマネジメント業務につきましても、1月末現在で要支援認定者数は156人で、そのうち介護予防支援計画策定件数は、包括支援センター分88件、居宅介護支援事業所委託分2件の合計90件となっております。

その他、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査につきましても、令和6年度からスタートする「第9期介護保険事業計画」を策定する基礎資料とするため、中芸管内の対象者3,561人に郵送し、回収件数が2,335件、その回収率は65.6%となっており、今後は本調査の集計作業と分析を進め、第9期介護保険事業計画の策定に取り組んでまいります。

更に、小規模法人ネットワーク化事業につきましても、3つの部会ごとに協議を進めている外、「腰痛ストレスチェック」や、おむつの基本的な知識等を取得する「おむつ検定」を実施し、2月上旬には介護をされる側と介護をする側の双方の安全性を高めるため、「ノーリフティングケア」に関するリーダー研修を開催し、中芸管内の事業所から6名が参加しました。引き続き介護人材の確保に繋がるよう、取り組みを続けてまいります。

(4) 火葬場業務について

火葬場業務につきましても、本年度1月末現在で、管内162件（奈半利町57件、田野町42件、安田町36件、北川村20件、馬路村7件）、管外20件、合計182件の火葬を行っており、前年度同期（151件）と比較しまして20.5%の増加で推移しております。

今議会に提案いたしました案件につきましては、条例案件12件、指定管理案件1件、予算案件10件、合計23件となっております。

ご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。